

【記載例】

申立書

令和 年 月 日

(あて先) 太 田 市 長

所有者 住所
氏名 印
電話 ()

このたび、私が建築し、又は取得しました下記の家屋は、現在のところ未入居の状態にありますが、自己の住宅の用に供するものに相違ありません。

記

1 家屋（建物）の表示

所在地 太田市〇〇町〇〇番地〇

家屋番号 〇〇番〇

2 入居予定年月日 令和 年 月 日

申立日から1～2週間程度

3 現在の家屋の処分方法 (例) 売却

4 入居が登記の後になる理由 (例) 抵当権設定の為

なお、証明書交付後、この申立書に虚偽があることが判明した場合には、証明を取り消され、税額の追徴を受けても異議ありません。